

2018年11月30日付 日刊産業新聞

共済推進会議と 懇親会を開催

全構協中国支部

【広島】全国鉄構工業協会中国支部は28日、広島市内のホテルニューヒロデンで「中国支部共済推進会議」

と懇親会を開催、各県の支部長ら関係者25人が参加した。

冒頭、山本泰徳支部長（広島県鉄構工業会理事長、ステントス社長）があいさつ、「共済



あいさつする山本支部長

事業と協力して、組合員にメリットを還元していく。そうすることで組合も潤い、参加の意義を見いだせる。形式だけではなく、本音による意見交換をしてほしい」と語った。

引き続き、全構協本部から参加した大島嗣雄運営委員長（愛知県鉄構工業協同組合理事長、東和鋼業社長）があいさつ、「それぞれの地域で、組合員に利点のあるものを提供していく。われわれのことでなく、次の世代のために意見を出し、若手の会員が共済を使いやすくするために取り組んでほしい」と話した。

その後の意見交換会

では各種協力会社やメーカーを交え、具体的な商品の内容や特徴、納期や各地域での取り扱いなどについての質疑応答が行われた。最後に会場を移して、懇親会も開催された。